

## 診断書作成に必要な検査項目

### 1. 勃起障害

ホルモン検査、一般採血、心理テスト

陰茎神経検査

振動覚検査：

会陰部知覚：

肛門括約筋のトーンス・自律収縮：

肛門反射及び球海綿体筋反射：

陰茎血管検査（リジスキャン使用）

夜間勃起検査（リジスキャン使用）

月曜日 10時入院 夜間勃起検査

火曜日 朝外出可 5時戻る 夜間勃起検査

水曜日 朝外出可 5時戻る 夜間勃起検査

木曜日 朝退院

### 以下の項目は自費診療

リジスキャンによる NPT（夜間勃起検査）測定 3日間の入院検査 約 20 万円

リジスキャンによる薬剤誘発勃起硬度測定（陰茎血管検査） 3万 1500 円

陰茎末梢神経知覚検査（振動覚検査） 5250 円

勃起不全治療薬内服テスト

バイアグラ 50mg 約 1300 円 処方箋費用 約 800 円

### 2. 射精障害

常態として精液中に精子が存在しないことについて

精巣亡失・萎縮の有無（確認日 確認方法 萎縮の程度）

陰茎欠損の有無（確認日 確認方法 欠損の程度）

尿道または射精管の断裂の有無（確認日 確認方法 断裂部位 程度）

両側下腹神経断裂の有無（確認日 確認方法 断裂部位 程度）